

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

120

就職支援相談員設置事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	6	産業を支える「人」の確保
施策	1	産業を支える「人」の確保
取組方針	1	人材の確保と育成

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	高等学校費		
	目	学校管理費		
	大事業	高等学校管理事業		
	中事業	就職支援相談員設置事業		

事業種別	継続			関連個別計画		
事業年度	平成23年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	学校教育課	前北 博文 435-1196
事業実施の根拠法令				関連課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	就職を希望する高等学校新規卒業生の就職活動を円滑を行うようにするため。		市立和歌山高等学校に就職支援相談員1人を配置し、新規高等学校卒業生の就職活動の支援及びキャリア教育を推進する。			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		1人の就職支援相談員を配置した。主な業務内容は、求人の開拓、関係学校との連携、インターンシップの調整及び推進、求人情報の提供等である。	1人の就職支援相談員を配置している。主な業務内容は、求人の開拓、関係学校との連携、インターンシップの調整及び推進、求人情報の提供等である。	1人の就職支援相談員を配置している。主な業務内容は、求人の開拓、関係学校との連携、生徒への面接等の就職指導、求人情報の提供等である。	1人の就職支援相談員を配置している。主な業務内容は、求人の開拓、関係学校との連携、生徒への面接等の就職指導、求人情報の提供等である。	1人の就職支援相談員を配置している。主な業務内容は、求人の開拓、関係学校との連携、生徒への面接等の就職指導、求人情報の提供等である。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人件費	正規職員	2,417	2,417	3,902	3,902	4,810	4,810	4,887	4,887	0	0
	正規職員以外	2,167	2,099	1,994	0	2,272	2,272	92	92	0	0
	小計	4,584	4,516	5,896	3,902	7,082	7,082	4,979	4,979	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
所要人数(人)	正規職員	0.30	0.30	0.49	0.49	0.62	0.62	0.63	0.63	0.00	0.00
	正規職員以外	0.95	0.92	0.92	0.00	0.99	0.99	0.04	0.04	0.00	0.00
主な予算内訳	報酬 534千円等										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
就職支援相談員配置数	人	目標値	1	1	1	1	
		実績値	1	1	1		
		達成度(%)	100%	100%	100%	%	
市内就職率	%	目標値	91.3	91.3	91.3	91.3	
		実績値	87.8	79.1	64.1		
		達成度(%)	96.17%	86.6%	70.2%	%	
成果指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	昨年度より市内就職率が下がったとはいえ、和歌山市立和歌山高等学校の就職を希望する生徒は、まだまだ地元志向が強く、相談員の配置が必要と考える。
見直し・改善内容	就職を希望する高等学校新規卒業生の就職活動を一層円滑に行うため、また、今の就職内定率を今後も維持・向上していくためには、現状の就職支援相談員の活動内容、効果を十分ふまえた上で、活動日数の上限を県立高等学校と同等程度まで増やしていく必要がある。